

移転における患者搬送の 最終リハーサルを行いました

1月30日（日）に移転前の最終となる患者搬送リハーサルを行いましたので、今回はその内容をご紹介します。今回のリハーサルは乗換班や搬送班などの役割ごとに集まって、役割内容の最終確認やトラブル発生時の対応について話し合う、打ち合わせ形式を中心として開催し

ました。

移転までいよいよ2週間にせまり、患者さんの搬送計画についても大詰めを迎えていて、事前準備も着々とすすんでいます。安全にスムーズに患者さんを新病院へ搬送できるよう、職員一丸となって最後まで頑張ります。



車両誘導班

上：本番同様、患者さんを搬送する車両を業者に準備していただき、乗車手順や玄関前の配置について確認しました。搬送車両は当日10台以上あるので事故のないよう計画しています。

下：移転当日、搬送を担当する移転本部の打ち合わせです。患者さんの状態変化が起こった時の対応や、連絡の方法などを決めています。移転時は何事にも対応できるよう、あらゆることを想定し、万全の体制で臨みます。



移転本部



新病院車両誘導班

上：新病院の車両誘導の方法について確認しました。搬送までに患者さんの待ち時間がないよう、車両誘導班はスムーズに車両を巡回させていくことが重要です。



上：現病院で患者さんがストレッチャーに乗り替えた後のベッドは、持っていくもの、廃棄するものに分け、持っていくベッドは拭き上げ、キレイにして運搬します。ベッド運搬の流れや清拭道具の位置決め、役割分担について細かく打ち合わせました。



上：搬送車両内の機器を確認しました。重症な患者さんも安全に搬送できるよう調整しています。

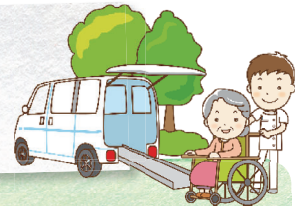
下：移転時は電話や無線機以外にも、WEB 会議システムを活用して、映像でも搬送状況がチェックできるように計画しています。接続状況やカメラ位置を調整しました。



下：新病院ではストレッチャーで搬送された患者さんがすぐにベッドに乗り替えできるよう、200 台以上のベッドを1階～2階に準備しておきます。それらのベッドを乗換エリアに順次運搬していきます。



移転当日までラストスパート！ 最後まで準備をすすめます！



さらなる安心を

ひとことリレー

健和会と患者さんを



患者搬送プロジェクト責任者
副院長 古城 都

新大手町病院竣工に向けて、
新病院にかける意気込み・各部門の特徴を紹介します！

移転プロジェクトチームの立ち上げは今から約1年前でした。これまで他院の病院移転の視察から始まり、搬送ルート・搬送方法の選定や引越し業者との打ち合わせを重ね、10月からは模擬患者で搬送シミュレーションを行ってきました。それ以外にも各部門との医療機器の稼働・移転タイミングのすり合わせなどは苦労しました。

ともあれ移転プロジェクトチームの一番の使命は「安全に、速やかに患者さんを新病院に搬送すること」です。とうとう病院移転の3月1日まで2週間を切りました。当日は気を引き締め、そして笑顔で患者さんを新病院に迎えましょう。ご協力よろしくお願い致します。